

杉並区立西田小学校 第9回 学校運営協議会記録

- ・日時 平成31年1月28日(月) 16時30分から18時20分
- ・場所 杉並区立西田小学校第二図書室
- ・出席者 諏訪会長、成田会長職務代行
 - 【委員】小堂校長、中澤、武井、望月、渡邊、目黒、恵良、檜枝(記録)
 - 【PTA】山内会長
 - 【事務局】濱元先生
- ・配布資料
 - 資料1 平成30年度第9回学校運営協議会次第
 - 資料2 平成30年度第8回学校運営協議会記録
 - 資料3 30年度杉並区「教育調査」並びに「よりよい学校づくりアンケート」結果の考察
 - 資料4 なみすく
 - 資料5 桃井第四小学校学校運営協議会「学校を面白くする会議」

1 最初に校長から、山内PTA会長の紹介があった。本日の議題である、教育調査結果の報告には保護者代表の参加が求められているためであるとの説明があった。

2 会長挨拶

- ・教育調査結果の報告についてしっかり議論したい。

2 校長挨拶

- ・インフルエンザが猛威を振るっていて本日4クラス、明日は6クラスが閉鎖される。皆さんにマスクをしてくださいとお願いしている。
- ・新井副校長が靱帯切断で手術をしたのでしばらくお休み。2月中旬復帰予定。

3 前回の協議会記録について

- ・了承された(資料2)。

4 教育調査に関して(協議)

配布資料3に基づいて、校長から報告があった。報告に関して以下の議論があった。

<保護者の結果について>

- ・学校経営に関して、「7)小中一貫教育」の肯定率が59%と最も低かった。学年別では1、6年で高く3年で最も低かった。3年生の結果に対して次の指摘があった。経時変化とみると、前年度の2年生の肯定率からかなり低下しているため、肯定率が低い何らかの原因があるのではないかと。また、全般的に3年生の肯定率は他学年より低いが、前年度の2年生にはそのような傾向はみられない。これも2年から3年に進級した際に肯定率を低下させる何らかの変化があったことを示唆している。

この指摘に関して校長から、3年生は落ち着いた状況で特に問題があるとは思っていないが、3年

の担任すべてが本年度新しく西田小に来た先生であることが関係しているのかもしれない、との説明があった。

- ・「26) 特別支援教育等の情報提供」の肯定率が 52%と低いことに関連して、次のような意見が出た。

松溪中でもこの項目の肯定率は高くない。

特別支援教室は限られた生徒が参加するが、特別支援教育は全員が理解すべきことで、「皆の考え方を変えていく」ことが大切。

保護者には伝わりにくいので、伝える努力が必要。たとえば、PTA 運営委員会で 10 分間でも毎年貰って説明する。

- ・以前、荻窪で強盗があり犯人が逃走した事件があったが、このような場合の対応マニュアルを事前に整備すべきであろう。

- ・「24) いじめの情報公開」に関連して、次のような意見が出た。

肯定率が 49%と低い。

保護者の意見を吸い上げるために匿名の目安箱を活用できないか。

いじめに対して学校が組織的に対応できるのは、研修等で「いじめとは何かの本質を理解させる」努力を続けることであり、それを保護者に発信することでであろう。

いじめられたことやいじめられた人に関する記述は多いが、いじめた人のことは書いていないので、先生の参考になりにくい。

いじめは児童・保護者にとって問題であり続けているので、先生方が固い決意をもって連携して取り組んで、いじめの無い西田小を目指すべきであろう。

いじめはアンケートの肯定率を伸ばすことでなく、「なくすこと」が目標であろう。

いじめが起きた際に、当事者を別なクラスに分けた事例はあるのかとの質問に対して、他校ではそのような事例があったとの説明があった。

- ・「21) 体力」に関して以下の意見が出た。

体力が高まるためには、放課後に校庭で思いっきり遊べる環境を作るのが良いので、桃四小のようにできないかとの質問に対して、校長からそのためには地域の力が必要であるとの説明があった。

<児童の結果について>

- ・校長から、生徒指導朝会を毎週 1 回開催し、情報を共有してきめの細かい指導ができるように努力しているとの説明があった。

- ・「②個別の指導」の肯定率は 46%とまだ低いが着実に伸びている。学年・学級によっては自主的に朝自習を認めているためではないかとの説明があった。朝自習は登校時間前に担任教員が登校する必要があるため、地域の教育力を活用し教員の負担が減る仕組みができると良いとの意見も出た。

<教員の結果について>

- ・12 項目のうち 3 項目—①障害等への合理的配慮、③教科のつながり、計画的改善、⑩個別の教育支援計画を作成—で肯定率が大きく上昇した。肯定率は 5 項目が 100%、3 項目が 90%台と高いのは評価できる。

- ・「③教科のつながり、計画的改善」の肯定率が 37%上昇したのは、ESD カレンダーを活用して取り組んだ成果と思っていると校長から説明があった。

- ・小・中の連携がかかわる項目（④、⑧、⑨）は肯定率が低いので、改善に取り組んでいるかとの質問に

対して以下の説明があった。

積極的に取り組もうと思っており、年3回の西田小、桃二小、松溪中3校合同の教員研修会が計画されているが、日程調整もままならない状況であり、改善策に苦慮しているとの説明があった。

- ・小・中連携の改善の取り組みは「優先順位の問題」であるので、管理者同士でしっかり方針を立てる必要がある。
- ・英語教育に関しては取り組みやすいのではないか。

<教育調査全体に対して>

- ・アンケート結果の理解についての一言。たとえば肯定率が90%の場合、90%で良かったとの理解と共に、肯定していない10%に目を向けて救い上げる取り組みのきっかけにすべきだ。
- ・肯定率50%を切っている項目の改善に重点的に取り組むべきであろう。

5 その他

- ・区内の全公立小学校に配布されている無料の教育・地域情報誌「なみすく」に西田小の学校支援本部が紹介された（資料4）。
- ・杉並区立小学校連合作品展がセッション杉並で2月1日（金）～3日（日）に開催される（資料5）。
- ・小学生名寄自然体験交流事業に本校から2名参加し、2月2日（土）の発表会で報告する。
- ・西田小学校同窓会の最新の会報が中澤委員（同窓会長）から紹介された（資料6）。特に、かつて杉原千畝氏の部下であった3期生（昭和21年卒）川村秀氏の「杉原千畝さんの思い出」が注目された。
- ・近隣のネパール人学校「エベレスト・インターナショナル・スクール・ジャパン」（EISJ）を訪問した委員から、EISJの教育は基本的には英語で行われ、地域との交流を積極的に進めようとしているとの報告があった。

校長から西田小も英語教育や国際交流を積極的に進めるので、関係を深めていきたいとの発言があった。

- ・山内PTA会長から以下の発言があった。PTAに積極的にかかわると学校のことがある程度わかるが、そうでない一般の保護者にはよくわからない。この協議会や同窓会などの地域の人が学校に積極的にかかわっていることをもっと発信すれば、保護者ももっと西田小に協力的になると思う。

6 事務連絡

- ・次回（第10回）学校運営協議会について

日時：2019年2月23日（土）13時30分から